

メ(宇都宮市平出工業団地、  
金属屋根製造施工のカナ

## 宇都宮のカナメ

# 浅草寺五重塔に チタン屋根採用

カナメがチタン成型瓦で屋根ふき替えを行う浅草寺五重塔



吉原正博社長よしはらまさひろは29日、浅草寺(東京都台東区)の五重塔屋根ふき替えて同社の軽量・高耐久のチタン成型

瓦が採用され、改修工事を受注したと発表した。現在の浅草寺五重塔は1973年に再建され、屋根

にアルミ合金瓦が使われていた。再建から43年が経過し、瓦に点さびや軒先の一部にゆがみが生じており、屋根のふき替えが検討されていた。五重塔は高さ約53.4m。屋根面積約1554平方m。瓦約5万7千枚を施工し、2017年4月の完成を目指す。

浅草寺の屋根ふき替えては、宝蔵門(07年5月完成)、本堂(10年11月完成)でも同社のチタン屋根が採用されている。

チタン成型瓦は、現在の金属屋根材で最も耐候性のあるチタンを使用することで、酸性雨や潮風などの環境影響をほとんど受けないという。過去の本堂工事では素材色に微妙な濃淡の違いがある3種類を用意し、それらをランダムに配置することで瓦屋根特有の「色むら」を再現した。今回のチタン材は配色をより「いぶし瓦」に近づける改良を施し、美しさを追求する。

(伊藤一之いとうかずゆき)